

(H30)

改 正	現 行	備 考
<p>第 1 章 土木設計業務等積算基準</p> <p>第 1 節 土木設計業務等積算基準</p> <p>1-3 業務委託料の積算</p> <p>1. 建設コンサルタントに委託する場合</p> <p>イ 業務委託料の積算方式 業務委託料は、次の方式により積算する。</p> $\begin{aligned} \text{業務委託料} &= (\text{業務価格}) + (\text{消費税相当額}) \\ &= [\{ (\text{直接人件費}) + (\text{直接経費}) + (\text{その他原価}) \} \\ &\quad + (\text{一般管理費等})] \times \{ 1 + (\text{消費税率}) \} \end{aligned}$ <p>ロ 各構成要素の算定</p> <p>(イ) 直接人件費 設計業務等に従事する者の人件費とする。なお、名称およびその基準日額は別途定める。</p> <p>(ロ) 直接経費 直接経費は、1-2の2.イ(ロ)の各項目について必要額を積算するものとし、旅費交通費については業務にかかる旅費交通費を計上する。 1-2の2.イ(ロ)の各項目以外の必要額については、その他原価として計上する。</p>	<p>第 1 章 土木設計業務等積算基準</p> <p>第 1 節 土木設計業務等積算基準</p> <p>1-3 業務委託料の積算</p> <p>1. 建設コンサルタントに委託する場合</p> <p>イ 業務委託料の積算方式 業務委託料は、次の方式により積算する。</p> $\begin{aligned} \text{業務委託料} &= (\text{業務価格}) + (\text{消費税相当額}) \\ &= [\{ (\text{直接人件費}) + (\text{直接経費}) + (\text{その他原価}) \} \\ &\quad + (\text{一般管理費等})] \times \{ 1 + (\text{消費税率}) \} \end{aligned}$ <p>ロ 各構成要素の算定</p> <p>(イ) 直接人件費 設計業務等に従事する者の人件費とする。なお、名称およびその基準日額は別途定める。</p> <p>(ロ) 直接経費 直接経費は、1-2の2.イ(ロ)の各項目について必要額を積算するものとし、旅費交通費については各所管の「旅費取扱規則」および「日額旅費支給規則」等に準じて積算するものとする。 1-2の2.イ(ロ)の各項目以外の必要額については、その他原価として計上する。</p>	

(H30)

改 正	現 行	備 考																																																																																																																																																																																																														
<p>第2章 土木設計業務等標準歩掛</p> <p>第2節 道路設計標準歩掛</p> <p>2-3 道路詳細設計</p> <p>2-3-1 道路詳細設計 (A)</p> <p>(1) 標準歩掛</p> <p>道路詳細設計 (A) は、与えられた平面図 (縮尺 1/1,000 線形入り)、縦横断図ならびに予備設計成果にもとづいて、道路工事に必要な縦横断の設計及び小構造物 (設計計算を必要としないもの) の設計を行い、各工種別数量計算を行う。</p> <p>(予備設計あり) (1km 当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分 \ 職 種</th> <th colspan="7">直 接 人 件 費</th> </tr> <tr> <th>主任技術者</th> <th>技師長</th> <th>主任技師</th> <th>技師 (A)</th> <th>技師 (B)</th> <th>技師 (C)</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計計画及び施工計画</td> <td></td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>2.5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現地踏査</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平面縦断設計</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>横断設計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.5</td> <td>2.5</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>道路付帯構造物・小構造物設計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>2.5</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>仮設構造物・用排水設計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計図</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3.0</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>数量計算</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.5</td> <td>3.5</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>照査</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.5</td> <td>2.0</td> <td>3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>報告書作成</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.5</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>0.5</td> <td>2.0</td> <td>7.0</td> <td>14.5</td> <td>20.5</td> <td>21.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 交差する道路が2車線 (対面) 未満の交差点設計は含まれる。 2. 新設及び改良区間を対象とする。 3. 座標計算及び暫定計画の設計は含まない。 4. 電子計算機使用料は、直接経費として直接人件費の2%を計上する。 5. 予備設計とは、道路予備設計 (B) 及び道路予備修正設計 (B) をいう。 6. 照査には、赤黄チェックによる照査も含む。 7. 単独区間あたりの設計延長が1km 未満の場合においては、次式によるものとする。 設計歩掛 = 標準歩掛 × (0.5 × 設計延長 (km) + 0.5) ※単独区間毎に算定し、計上する。 8. 仮設構造物・用排水設計に指定仮設を検討する場合は、本歩掛を適用せず別途計上する。</p> <p>※赤黄チェック：成果物を取りまとめるにあたって、設計図、設計計算書、数量計算書等について、それぞれ及び相互 (設計図-設計計算書間、設計図-数量計算書間等) の整合を確認する上で、確認マークをするなどしてわかりやすく確認結果を示し、間違いの修正を行うための照査手法。</p>	区 分 \ 職 種	直 接 人 件 費							主任技術者	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	設計計画及び施工計画		0.5	0.5	1.0	2.5			現地踏査				0.5	1.0	1.0		平面縦断設計			0.5	1.0	2.0	2.0	2.0	横断設計				0.5	1.5	2.5	5.0	道路付帯構造物・小構造物設計				0.5	1.0	2.5	4.5	仮設構造物・用排水設計					1.0	2.0		設計図						3.0	5.0	数量計算				0.5	1.5	3.5	5.0	照査			0.5	1.5	2.0	3.0		報告書作成			0.5	1.5	2.0	1.0		計		0.5	2.0	7.0	14.5	20.5	21.5	<p>第2章 土木設計業務等標準歩掛</p> <p>第2節 道路設計標準歩掛</p> <p>2-3 道路詳細設計</p> <p>2-3-1 道路詳細設計 (A)</p> <p>(1) 標準歩掛</p> <p>道路詳細設計 (A) は、与えられた平面図 (縮尺 1/1,000 線形入り)、縦横断図ならびに予備設計成果にもとづいて、道路工事に必要な縦横断の設計及び小構造物 (設計計算を必要としないもの) の設計を行い、各工種別数量計算を行う。</p> <p>(予備設計あり) (1km 当り)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区 分 \ 職 種</th> <th colspan="7">直 接 人 件 費</th> </tr> <tr> <th>主任技術者</th> <th>技師長</th> <th>主任技師</th> <th>技師 (A)</th> <th>技師 (B)</th> <th>技師 (C)</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計計画及び施工計画</td> <td></td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>2.5</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>現地踏査</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平面縦断設計</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>横断設計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.5</td> <td>2.5</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>道路付帯構造物・小構造物設計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>2.5</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>仮設構造物・用排水設計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1.0</td> <td>2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設計図</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3.0</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>数量計算</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.5</td> <td>3.5</td> <td>5.0</td> </tr> <tr> <td>照査</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.5</td> <td>2.0</td> <td>3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>報告書作成</td> <td></td> <td></td> <td>0.5</td> <td>1.5</td> <td>2.0</td> <td>1.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td>0.5</td> <td>2.0</td> <td>7.0</td> <td>14.5</td> <td>20.5</td> <td>21.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 交差する道路が2車線 (対面) 未満の交差点設計は含まれる。 2. 新設及び改良区間を対象とする。 3. 座標計算及び暫定計画の設計は含まない。 4. 電子計算機使用料は、直接経費として直接人件費の2%を計上する。 5. 予備設計とは、道路予備設計 (B) 及び道路予備修正設計 (B) をいう。 6. 照査には、赤黄チェックによる照査も含む。 7. 単独区間あたりの設計延長が1km 未満の場合においては、次式によるものとする。 設計歩掛 = 標準歩掛 × (0.5 × 設計延長 (km) + 0.5) ※単独区間毎に算定し、計上する。 (新設)</p> <p>※赤黄チェック：成果物を取りまとめるにあたって、設計図、設計計算書、数量計算書等について、それぞれ及び相互 (設計図-設計計算書間、設計図-数量計算書間等) の整合を確認する上で、確認マークをするなどしてわかりやすく確認結果を示し、間違いの修正を行うための照査手法。</p>	区 分 \ 職 種	直 接 人 件 費							主任技術者	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	設計計画及び施工計画		0.5	0.5	1.0	2.5			現地踏査				0.5	1.0	1.0		平面縦断設計			0.5	1.0	2.0	2.0	2.0	横断設計				0.5	1.5	2.5	5.0	道路付帯構造物・小構造物設計				0.5	1.0	2.5	4.5	仮設構造物・用排水設計					1.0	2.0		設計図						3.0	5.0	数量計算				0.5	1.5	3.5	5.0	照査			0.5	1.5	2.0	3.0		報告書作成			0.5	1.5	2.0	1.0		計		0.5	2.0	7.0	14.5	20.5	21.5	
区 分 \ 職 種		直 接 人 件 費																																																																																																																																																																																																														
	主任技術者	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員																																																																																																																																																																																																									
設計計画及び施工計画		0.5	0.5	1.0	2.5																																																																																																																																																																																																											
現地踏査				0.5	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																										
平面縦断設計			0.5	1.0	2.0	2.0	2.0																																																																																																																																																																																																									
横断設計				0.5	1.5	2.5	5.0																																																																																																																																																																																																									
道路付帯構造物・小構造物設計				0.5	1.0	2.5	4.5																																																																																																																																																																																																									
仮設構造物・用排水設計					1.0	2.0																																																																																																																																																																																																										
設計図						3.0	5.0																																																																																																																																																																																																									
数量計算				0.5	1.5	3.5	5.0																																																																																																																																																																																																									
照査			0.5	1.5	2.0	3.0																																																																																																																																																																																																										
報告書作成			0.5	1.5	2.0	1.0																																																																																																																																																																																																										
計		0.5	2.0	7.0	14.5	20.5	21.5																																																																																																																																																																																																									
区 分 \ 職 種	直 接 人 件 費																																																																																																																																																																																																															
	主任技術者	技師長	主任技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員																																																																																																																																																																																																									
設計計画及び施工計画		0.5	0.5	1.0	2.5																																																																																																																																																																																																											
現地踏査				0.5	1.0	1.0																																																																																																																																																																																																										
平面縦断設計			0.5	1.0	2.0	2.0	2.0																																																																																																																																																																																																									
横断設計				0.5	1.5	2.5	5.0																																																																																																																																																																																																									
道路付帯構造物・小構造物設計				0.5	1.0	2.5	4.5																																																																																																																																																																																																									
仮設構造物・用排水設計					1.0	2.0																																																																																																																																																																																																										
設計図						3.0	5.0																																																																																																																																																																																																									
数量計算				0.5	1.5	3.5	5.0																																																																																																																																																																																																									
照査			0.5	1.5	2.0	3.0																																																																																																																																																																																																										
報告書作成			0.5	1.5	2.0	1.0																																																																																																																																																																																																										
計		0.5	2.0	7.0	14.5	20.5	21.5																																																																																																																																																																																																									

(H30)

改 正	現 行	備 考																																																																																																																																																																																																														
<p>2-3-2 道路詳細設計 (B) (1) 標準歩掛 道路詳細設計 (B) は、与えられた平面図 (縮尺 1/1,000 線形入り) , 縦横断面図にもとづいて、道路工事に必要な縦横断の設計及び小構造物 (設計計算を必要としないもの) の設計を行い、各工種別数量計算を行う。 (予備設計なし) (1km 当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">職 種 区 分</th> <th colspan="7">直 接 人 件 費</th> </tr> <tr> <th>主任 技術者</th> <th>技師長</th> <th>主任 技 師</th> <th>技 師 (A)</th> <th>技 師 (B)</th> <th>技 師 (C)</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>設計計画及び施工計画</td><td></td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>2.0</td><td>3.0</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>現地踏査</td><td></td><td></td><td>0.5</td><td>0.5</td><td>1.0</td><td>0.5</td><td></td></tr> <tr><td>平面縦断設計</td><td></td><td></td><td>1.0</td><td>2.0</td><td>2.5</td><td>2.0</td><td>1.5</td></tr> <tr><td>横断設計</td><td></td><td></td><td></td><td>1.0</td><td>2.0</td><td>2.5</td><td>3.5</td></tr> <tr><td>道路付帯構造物・小構造物設計</td><td></td><td></td><td></td><td>1.0</td><td>1.5</td><td>2.0</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>仮設構造物・用排水設計</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.5</td><td>1.5</td><td></td></tr> <tr><td>設計図</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2.0</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>数量計算</td><td></td><td></td><td></td><td>1.0</td><td>1.5</td><td>3.5</td><td>4.0</td></tr> <tr><td>照査</td><td></td><td></td><td>0.5</td><td>1.5</td><td>2.0</td><td>3.0</td><td></td></tr> <tr><td>報告書作成</td><td></td><td></td><td>1.0</td><td>1.5</td><td>2.5</td><td>1.0</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>1.5</td><td>4.0</td><td>10.5</td><td>16.5</td><td>18.0</td><td>14.0</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 交差する道路が2車線 (対面) 未満の交差点設計は含まれる。 2. 新設及び改良区間を対象とする。 3. 座標計算及び暫定計画の設計は含まない。 4. 電子計算機使用料は、直接経費として直接人件費の2%を計上する。 5. 照査には、赤黄チェックによる照査も含む。 6. 単独区間あたりの設計延長が1km 未満の場合においては、次式によるものとする。 設計歩掛=標準歩掛×(0.5×設計延長(km)+0.5) ※単独区間毎に算定し、計上する。 7. 仮設構造物・用排水設計に指定仮設を検討する場合は、本歩掛を適用せず別途計上する。</p>	職 種 区 分	直 接 人 件 費							主任 技術者	技師長	主任 技 師	技 師 (A)	技 師 (B)	技 師 (C)	技術員	設計計画及び施工計画		1.5	1.0	2.0	3.0			現地踏査			0.5	0.5	1.0	0.5		平面縦断設計			1.0	2.0	2.5	2.0	1.5	横断設計				1.0	2.0	2.5	3.5	道路付帯構造物・小構造物設計				1.0	1.5	2.0	2.0	仮設構造物・用排水設計					0.5	1.5		設計図						2.0	3.0	数量計算				1.0	1.5	3.5	4.0	照査			0.5	1.5	2.0	3.0		報告書作成			1.0	1.5	2.5	1.0		計		1.5	4.0	10.5	16.5	18.0	14.0	<p>2-3-2 道路詳細設計 (B) (1) 標準歩掛 道路詳細設計 (B) は、与えられた平面図 (縮尺 1/1,000 線形入り) , 縦横断面図にもとづいて、道路工事に必要な縦横断の設計及び小構造物 (設計計算を必要としないもの) の設計を行い、各工種別数量計算を行う。 (予備設計なし) (1km 当り)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">職 種 区 分</th> <th colspan="7">直 接 人 件 費</th> </tr> <tr> <th>主任 技術者</th> <th>技師長</th> <th>主任 技 師</th> <th>技 師 (A)</th> <th>技 師 (B)</th> <th>技 師 (C)</th> <th>技術員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>設計計画及び施工計画</td><td></td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>2.0</td><td>3.0</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>現地踏査</td><td></td><td></td><td>0.5</td><td>0.5</td><td>1.0</td><td>0.5</td><td></td></tr> <tr><td>平面縦断設計</td><td></td><td></td><td>1.0</td><td>2.0</td><td>2.5</td><td>2.0</td><td>1.5</td></tr> <tr><td>横断設計</td><td></td><td></td><td></td><td>1.0</td><td>2.0</td><td>2.5</td><td>3.5</td></tr> <tr><td>道路付帯構造物・小構造物設計</td><td></td><td></td><td></td><td>1.0</td><td>1.5</td><td>2.0</td><td>2.0</td></tr> <tr><td>仮設構造物・用排水設計</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>0.5</td><td>1.5</td><td></td></tr> <tr><td>設計図</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>2.0</td><td>3.0</td></tr> <tr><td>数量計算</td><td></td><td></td><td></td><td>1.0</td><td>1.5</td><td>3.5</td><td>4.0</td></tr> <tr><td>照査</td><td></td><td></td><td>0.5</td><td>1.5</td><td>2.0</td><td>3.0</td><td></td></tr> <tr><td>報告書作成</td><td></td><td></td><td>1.0</td><td>1.5</td><td>2.5</td><td>1.0</td><td></td></tr> <tr><td>計</td><td></td><td>1.5</td><td>4.0</td><td>10.5</td><td>16.5</td><td>18.0</td><td>14.0</td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 交差する道路が2車線 (対面) 未満の交差点設計は含まれる。 2. 新設及び改良区間を対象とする。 3. 座標計算及び暫定計画の設計は含まない。 4. 電子計算機使用料は、直接経費として直接人件費の2%を計上する。 5. 照査には、赤黄チェックによる照査も含む。 6. 単独区間あたりの設計延長が1km 未満の場合においては、次式によるものとする。 設計歩掛=標準歩掛×(0.5×設計延長(km)+0.5) ※単独区間毎に算定し、計上する。 (新設)</p>	職 種 区 分	直 接 人 件 費							主任 技術者	技師長	主任 技 師	技 師 (A)	技 師 (B)	技 師 (C)	技術員	設計計画及び施工計画		1.5	1.0	2.0	3.0			現地踏査			0.5	0.5	1.0	0.5		平面縦断設計			1.0	2.0	2.5	2.0	1.5	横断設計				1.0	2.0	2.5	3.5	道路付帯構造物・小構造物設計				1.0	1.5	2.0	2.0	仮設構造物・用排水設計					0.5	1.5		設計図						2.0	3.0	数量計算				1.0	1.5	3.5	4.0	照査			0.5	1.5	2.0	3.0		報告書作成			1.0	1.5	2.5	1.0		計		1.5	4.0	10.5	16.5	18.0	14.0	
職 種 区 分		直 接 人 件 費																																																																																																																																																																																																														
	主任 技術者	技師長	主任 技 師	技 師 (A)	技 師 (B)	技 師 (C)	技術員																																																																																																																																																																																																									
設計計画及び施工計画		1.5	1.0	2.0	3.0																																																																																																																																																																																																											
現地踏査			0.5	0.5	1.0	0.5																																																																																																																																																																																																										
平面縦断設計			1.0	2.0	2.5	2.0	1.5																																																																																																																																																																																																									
横断設計				1.0	2.0	2.5	3.5																																																																																																																																																																																																									
道路付帯構造物・小構造物設計				1.0	1.5	2.0	2.0																																																																																																																																																																																																									
仮設構造物・用排水設計					0.5	1.5																																																																																																																																																																																																										
設計図						2.0	3.0																																																																																																																																																																																																									
数量計算				1.0	1.5	3.5	4.0																																																																																																																																																																																																									
照査			0.5	1.5	2.0	3.0																																																																																																																																																																																																										
報告書作成			1.0	1.5	2.5	1.0																																																																																																																																																																																																										
計		1.5	4.0	10.5	16.5	18.0	14.0																																																																																																																																																																																																									
職 種 区 分	直 接 人 件 費																																																																																																																																																																																																															
	主任 技術者	技師長	主任 技 師	技 師 (A)	技 師 (B)	技 師 (C)	技術員																																																																																																																																																																																																									
設計計画及び施工計画		1.5	1.0	2.0	3.0																																																																																																																																																																																																											
現地踏査			0.5	0.5	1.0	0.5																																																																																																																																																																																																										
平面縦断設計			1.0	2.0	2.5	2.0	1.5																																																																																																																																																																																																									
横断設計				1.0	2.0	2.5	3.5																																																																																																																																																																																																									
道路付帯構造物・小構造物設計				1.0	1.5	2.0	2.0																																																																																																																																																																																																									
仮設構造物・用排水設計					0.5	1.5																																																																																																																																																																																																										
設計図						2.0	3.0																																																																																																																																																																																																									
数量計算				1.0	1.5	3.5	4.0																																																																																																																																																																																																									
照査			0.5	1.5	2.0	3.0																																																																																																																																																																																																										
報告書作成			1.0	1.5	2.5	1.0																																																																																																																																																																																																										
計		1.5	4.0	10.5	16.5	18.0	14.0																																																																																																																																																																																																									

(H30)

改 正	現 行	備 考
<p>2-4 補正の適用</p> <p>(6) 取付道路, 付替水路</p> <p>1) 取付道路, 付替水路共, 平面図に記入する以外に詳細図を作成する場合, 各々累計延長が歩掛表の値を超えた場合には, 「第6節道路設計関係その他設計等 6-1 取付道路・大型用排水路詳細設計」を適用する。</p> <p>2) 取付道路, 付替水路のうち一般構造物(擁壁, 函渠等)については, 別途計上する。</p>	<p>2-4 補正の適用</p> <p>(6) 取付道路, 付替水路</p> <p>1) 取付道路, 付替水路共, 平面図に記入する以外に詳細図を作成する場合, 各々累計延長が歩掛表の値を超えた部分に適用する。</p> <p>2) 取付道路, 付替水路のうち一般構造物(擁壁, 函渠等)については, 別途計上する。</p>	

(H30)

改 正	現 行	備 考
<p>第 8 節 橋梁設計</p> <p>8-2 橋梁詳細設計</p> <p>8-2-3 標準歩掛の補正（橋梁上部工） この補正はコンクリート橋、鋼橋に適用する。</p> <p>(4) 類似構造物 設計計算、設計図、数量計算を別にする必要がある類似構造物についての歩掛は、</p> $\text{歩掛} = \text{標準歩掛（基本構造物）} \times (\text{橋長補正係数} + \text{各種補正係数}) \times 0.65$ <p>(注) 1. 上部工の幅員、橋長は変化するが、同一橋種であり、形状（斜角かつバチ形かつ曲線形）の補正項目が同一の場合は類似構造物として取り扱う。 2. 上部工の幅員、橋長が同一で、橋種も全て同一の場合は連続していても1橋分のみ計上する。</p> <p>上記の割増し条件による補正計算は次式による。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>* (例) 予備設計なし、4径間、曲線形で基本構造物1箇所、類似構造物2箇所の場合</p> <p>①基本構造物 標準歩掛 $\times (y / 100 + 0.05 + 0.05 + 0.8)$ [橋長補正式の値%] [予備なし] [4径間] [曲線形]</p> <p>②類似構造物(1) 標準歩掛 $\times (y' / 100 + 0.05 + 0.05 + 0.8) \times 0.65$ [橋長補正式の値%] [予備なし] [4径間] [曲線形] [類似構造物]</p> <p>③類似構造物(2) 標準歩掛 $\times (y'' / 100 + 0.05 + 0.05 + 0.8) \times 0.65$ [橋長補正式の値%] [予備なし] [4径間] [曲線形] [類似構造物]</p> <p>y'、y''とは、類似構造物のそれぞれの橋長による橋長補正率(%)を示す。</p> </div> <p>(5) 標準設計を利用、またはJIS桁を使用する場合 標準歩掛（予備設計あり）$\times 60\%$を計上する。</p> <p>(注) 標準設計を利用、またはJIS桁を使用する場合は、予備設計の有無に関わらず、「標準歩掛（予備設計あり）$\times 60\%$」を計上し、橋長補正、形状・構造変化による補正は行わない。</p>	<p>第 8 節 橋梁設計</p> <p>8-2 橋梁詳細設計</p> <p>8-2-3 標準歩掛の補正（橋梁上部工） この補正はコンクリート橋、鋼橋に適用する。</p> <p>(4) 類似構造物 設計計算、設計図、数量計算を別にする必要がある類似構造物についての歩掛は、</p> $\text{歩掛} = \text{標準歩掛（基本構造物）} \times (\text{橋長補正係数} + \text{各種補正係数}) \times 0.65$ <p>(注) 1. 上部工の幅員、橋長は変化するが、同一橋種であり、形状（斜角かつバチ形かつ曲線形）の補正項目が同一の場合は類似構造物として取り扱う。 2. 上部工の幅員、橋長が同一で、橋種も全て同一の場合は連続していても1橋分のみ計上する。</p> <p>上記の割増し条件による補正計算は次式による。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>* (例) 予備設計なし、4径間、曲線形で基本構造物1箇所、類似構造物2箇所の場合</p> <p>①基本構造物 標準歩掛 $\times (y / 100 + 0.05 + 0.05 + 0.8)$ [橋長補正式の値%] [予備なし] [4径間] [曲線形]</p> <p>②類似構造物(1) 標準歩掛 $\times (y' / 100 + 0.05 + 0.05 + 0.8) \times 0.65$ [橋長補正式の値%] [予備なし] [4径間] [曲線形] [類似構造物]</p> <p>③類似構造物(2) 標準歩掛 $\times (y'' / 100 + 0.05 + 0.05 + 0.8) \times 0.65$ [橋長補正式の値%] [予備なし] [4径間] [曲線形] [類似構造物]</p> <p>y'、y''とは、類似構造物のそれぞれの橋長による橋長補正率(%)を示す。</p> </div> <p>(5) 標準設計を利用、またはJIS桁を使用する場合 標準歩掛（予備設計あり）$\times 60\%$を計上する。</p> <p>(注) 標準設計を利用、またはJIS桁を使用する場合は、橋長補正、形状・構造変化による補正は行わない</p>	

(H30)

改 正	現 行	備 考																																														
<p>第 1 3 節 仮設構造物詳細設計</p> <p>1 3 - 1 土留工</p> <p>1 3 - 1 - 1 土留工詳細設計</p> <p>(1) 適用範囲 本歩掛は、道路構造物等の施工に伴う仮設の土留工（鋼矢板工法、親杭横矢板工法〔H形鋼〕）に適用する。 なお、指定仮設を検討する場合は、本歩掛を適用せず別途計上とする。</p> <p>(2) 作業区分 土留工における作業区分は以下のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">作 業 区 分</th> <th style="text-align: center;">区 分</th> <th style="text-align: center;">作 業 の 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">設 計 計 画</td> <td style="text-align: center;">設 計 計 画</td> <td>業務の目的・主旨を把握したうえで、特記仕様書に示す業務内容、設計条件を確認し、構造型式の比較検討を行う。また、業務概要、実施方針、業務工程、組織計画、打合せ計画等を記載した業務計画書（照査計画を含む）を作成する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">施 工 計 画</td> <td>仮設構造物に関する、計画工程表、施工順序、施工方法、資材・部材の搬入計画、工事費積算にあたって必要な計画を記載した施工計画の作成を行う。なお、施工計画書には設計と不可分な施工上の留意点についてとりまとめを行い、記載する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">設 計 計 算</td> <td style="text-align: center;">設 計 計 算</td> <td>地盤条件、施工条件および周辺環境条件等、基本的に定まった条件のもとで応力計算を行い、材料の種類、規格、長さ（根入れ長）等を決定する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">設 計 図</td> <td style="text-align: center;">設 計 図</td> <td>設計計算により定められた諸条件で、構造一般図、詳細図等を作成する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">数 量 計 算</td> <td style="text-align: center;">数 量 計 算</td> <td>決定した仮設構造物詳細形状に対して、数量算出要領に基づき、各項目毎に数量の算出を行う。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">照 査</td> <td style="text-align: center;">照 査</td> <td>基本的な条件決定に伴う、施工条件、設計方針、設計手法及び設計計算、設計図、数量計算等の適切性及び整合性等の照査。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">報 告 書 作 成</td> <td style="text-align: center;">報 告 書 作 成</td> <td>設計条件、構造型式決定の経緯と選定理由、設計計算書、設計図面、数量計算書、概算工事費、施工計画書、施工段階での注意事項、現地踏査等の内容のとりまとめを行う。</td> </tr> </tbody> </table>	作 業 区 分	区 分	作 業 の 範 囲	設 計 計 画	設 計 計 画	業務の目的・主旨を把握したうえで、特記仕様書に示す業務内容、設計条件を確認し、構造型式の比較検討を行う。また、業務概要、実施方針、業務工程、組織計画、打合せ計画等を記載した業務計画書（照査計画を含む）を作成する。	施 工 計 画	仮設構造物に関する、計画工程表、施工順序、施工方法、資材・部材の搬入計画、工事費積算にあたって必要な計画を記載した施工計画の作成を行う。なお、施工計画書には設計と不可分な施工上の留意点についてとりまとめを行い、記載する。	設 計 計 算	設 計 計 算	地盤条件、施工条件および周辺環境条件等、基本的に定まった条件のもとで応力計算を行い、材料の種類、規格、長さ（根入れ長）等を決定する。	設 計 図	設 計 図	設計計算により定められた諸条件で、構造一般図、詳細図等を作成する。	数 量 計 算	数 量 計 算	決定した仮設構造物詳細形状に対して、数量算出要領に基づき、各項目毎に数量の算出を行う。	照 査	照 査	基本的な条件決定に伴う、施工条件、設計方針、設計手法及び設計計算、設計図、数量計算等の適切性及び整合性等の照査。	報 告 書 作 成	報 告 書 作 成	設計条件、構造型式決定の経緯と選定理由、設計計算書、設計図面、数量計算書、概算工事費、施工計画書、施工段階での注意事項、現地踏査等の内容のとりまとめを行う。	<p>第 1 3 節 仮設構造物詳細設計</p> <p>1 3 - 1 土留工</p> <p>1 3 - 1 - 1 土留工詳細設計</p> <p>(1) 適用範囲 本歩掛は、道路構造物等の施工に伴う仮設の土留工（鋼矢板工法、親杭横矢板工法〔H形鋼〕）に適用する。</p> <p>(2) 作業区分 土留工における作業区分は以下のとおりとする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">作 業 区 分</th> <th style="text-align: center;">区 分</th> <th style="text-align: center;">作 業 の 範 囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">設 計 計 画</td> <td style="text-align: center;">設 計 計 画</td> <td>業務の目的・主旨を把握したうえで、特記仕様書に示す業務内容、設計条件を確認し、構造型式の比較検討を行う。また、業務概要、実施方針、業務工程、組織計画、打合せ計画等を記載した業務計画書（照査計画を含む）を作成する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">施 工 計 画</td> <td>仮設構造物に関する、計画工程表、施工順序、施工方法、資材・部材の搬入計画、工事費積算にあたって必要な計画を記載した施工計画の作成を行う。なお、施工計画書には設計と不可分な施工上の留意点についてとりまとめを行い、記載する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">設 計 計 算</td> <td style="text-align: center;">設 計 計 算</td> <td>地盤条件、施工条件および周辺環境条件等、基本的に定まった条件のもとで応力計算を行い、材料の種類、規格、長さ（根入れ長）等を決定する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">設 計 図</td> <td style="text-align: center;">設 計 図</td> <td>設計計算により定められた諸条件で、構造一般図、詳細図等を作成する。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">数 量 計 算</td> <td style="text-align: center;">数 量 計 算</td> <td>決定した仮設構造物詳細形状に対して、数量算出要領に基づき、各項目毎に数量の算出を行う。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">照 査</td> <td style="text-align: center;">照 査</td> <td>基本的な条件決定に伴う、施工条件、設計方針、設計手法及び設計計算、設計図、数量計算等の適切性及び整合性等の照査。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">報 告 書 作 成</td> <td style="text-align: center;">報 告 書 作 成</td> <td>設計条件、構造型式決定の経緯と選定理由、設計計算書、設計図面、数量計算書、概算工事費、施工計画書、施工段階での注意事項、現地踏査等の内容のとりまとめを行う。</td> </tr> </tbody> </table>	作 業 区 分	区 分	作 業 の 範 囲	設 計 計 画	設 計 計 画	業務の目的・主旨を把握したうえで、特記仕様書に示す業務内容、設計条件を確認し、構造型式の比較検討を行う。また、業務概要、実施方針、業務工程、組織計画、打合せ計画等を記載した業務計画書（照査計画を含む）を作成する。	施 工 計 画	仮設構造物に関する、計画工程表、施工順序、施工方法、資材・部材の搬入計画、工事費積算にあたって必要な計画を記載した施工計画の作成を行う。なお、施工計画書には設計と不可分な施工上の留意点についてとりまとめを行い、記載する。	設 計 計 算	設 計 計 算	地盤条件、施工条件および周辺環境条件等、基本的に定まった条件のもとで応力計算を行い、材料の種類、規格、長さ（根入れ長）等を決定する。	設 計 図	設 計 図	設計計算により定められた諸条件で、構造一般図、詳細図等を作成する。	数 量 計 算	数 量 計 算	決定した仮設構造物詳細形状に対して、数量算出要領に基づき、各項目毎に数量の算出を行う。	照 査	照 査	基本的な条件決定に伴う、施工条件、設計方針、設計手法及び設計計算、設計図、数量計算等の適切性及び整合性等の照査。	報 告 書 作 成	報 告 書 作 成	設計条件、構造型式決定の経緯と選定理由、設計計算書、設計図面、数量計算書、概算工事費、施工計画書、施工段階での注意事項、現地踏査等の内容のとりまとめを行う。	
作 業 区 分	区 分	作 業 の 範 囲																																														
設 計 計 画	設 計 計 画	業務の目的・主旨を把握したうえで、特記仕様書に示す業務内容、設計条件を確認し、構造型式の比較検討を行う。また、業務概要、実施方針、業務工程、組織計画、打合せ計画等を記載した業務計画書（照査計画を含む）を作成する。																																														
	施 工 計 画	仮設構造物に関する、計画工程表、施工順序、施工方法、資材・部材の搬入計画、工事費積算にあたって必要な計画を記載した施工計画の作成を行う。なお、施工計画書には設計と不可分な施工上の留意点についてとりまとめを行い、記載する。																																														
設 計 計 算	設 計 計 算	地盤条件、施工条件および周辺環境条件等、基本的に定まった条件のもとで応力計算を行い、材料の種類、規格、長さ（根入れ長）等を決定する。																																														
設 計 図	設 計 図	設計計算により定められた諸条件で、構造一般図、詳細図等を作成する。																																														
数 量 計 算	数 量 計 算	決定した仮設構造物詳細形状に対して、数量算出要領に基づき、各項目毎に数量の算出を行う。																																														
照 査	照 査	基本的な条件決定に伴う、施工条件、設計方針、設計手法及び設計計算、設計図、数量計算等の適切性及び整合性等の照査。																																														
報 告 書 作 成	報 告 書 作 成	設計条件、構造型式決定の経緯と選定理由、設計計算書、設計図面、数量計算書、概算工事費、施工計画書、施工段階での注意事項、現地踏査等の内容のとりまとめを行う。																																														
作 業 区 分	区 分	作 業 の 範 囲																																														
設 計 計 画	設 計 計 画	業務の目的・主旨を把握したうえで、特記仕様書に示す業務内容、設計条件を確認し、構造型式の比較検討を行う。また、業務概要、実施方針、業務工程、組織計画、打合せ計画等を記載した業務計画書（照査計画を含む）を作成する。																																														
	施 工 計 画	仮設構造物に関する、計画工程表、施工順序、施工方法、資材・部材の搬入計画、工事費積算にあたって必要な計画を記載した施工計画の作成を行う。なお、施工計画書には設計と不可分な施工上の留意点についてとりまとめを行い、記載する。																																														
設 計 計 算	設 計 計 算	地盤条件、施工条件および周辺環境条件等、基本的に定まった条件のもとで応力計算を行い、材料の種類、規格、長さ（根入れ長）等を決定する。																																														
設 計 図	設 計 図	設計計算により定められた諸条件で、構造一般図、詳細図等を作成する。																																														
数 量 計 算	数 量 計 算	決定した仮設構造物詳細形状に対して、数量算出要領に基づき、各項目毎に数量の算出を行う。																																														
照 査	照 査	基本的な条件決定に伴う、施工条件、設計方針、設計手法及び設計計算、設計図、数量計算等の適切性及び整合性等の照査。																																														
報 告 書 作 成	報 告 書 作 成	設計条件、構造型式決定の経緯と選定理由、設計計算書、設計図面、数量計算書、概算工事費、施工計画書、施工段階での注意事項、現地踏査等の内容のとりまとめを行う。																																														

(H30)

改 正	現 行	備 考																																																														
<p>第 1 4 節 河川構造物設計</p> <p>1 4 - 1 樋門設計 1 4 - 1 - 3 樋門詳細設計 (1) 作業区分 樋門詳細設計歩掛における作業区分は以下のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">作 業 区 分</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">業 務 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">構 造 設 計</td> <td>本体工</td> <td>躯体、門柱・操作台、胸壁、翼壁、水叩き、護床工及び沈下・変位・部材応力等の計測工について検討し、安定計算・構造計算を行い、構造詳細図、配筋図等を作成する。</td> </tr> <tr> <td>ゲート工及び操作室</td> <td>扉体、巻上機、戸当り、操作室、管理橋の各部について検討し、ゲート・操作室の設計を行う。</td> </tr> <tr> <td>高水護岸・低水護岸及び土工等</td> <td>高水護岸・低水護岸の構造及び使用すべき材料の選定と、必要に応じて安定計算、構造計算を行って、平面図、横断図、縦断図、構造詳細図を作成する。 また、掘削、盛土及び埋戻等の土工図を作成する。</td> </tr> <tr> <td>施 工 計 画</td> <td colspan="2">堤防開削、本堤築造及びそれに伴う仮締切の構造・撤去等の工事の順序と施工法を検討する。</td> </tr> <tr> <td>施 工 計 画 (地盤処理工置換基礎)</td> <td colspan="2">地盤処理工（置換基礎）の工事順序と施工方法を検討する。</td> </tr> <tr> <td>仮設構造物設計</td> <td colspan="2">施工計画により必要となる仮設構造物（仮締切、仮排水路、工事用道路及び山留工等）の規模、構造諸元を近接構造物への影響を考慮して、水理計算、安定計算及び構造計算により決定し、仮設計画を策定する。 なお、鋼矢板式二重締切堤は含まれないものとする。なお、指定仮設を検討する場合は、本歩掛を適用せず別途計上する。</td> </tr> <tr> <td>数 量 計 算</td> <td colspan="2">数量算出要領に基づき、工種別、区間別に数量のとりまとめを行う。</td> </tr> <tr> <td>パ ー ス 作 成</td> <td colspan="2">決定したデザインをもとに、周辺を含めた着色パース（A3判）を1タイプについて作成する。</td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td colspan="2"> <p>下記に示す事項を標準として照査を行う。</p> <p>①設計条件の決定に際し、現地の状況の他、基礎情報を収集、把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるかについて照査を行う。</p> <p>②一般図を基に構造物の断面形状、構造形式及び地盤条件と基礎形式の整合が適切にとれているかの確認を行う。</p> <p>③設計方針及び設計手法が適切であるかの確認を行う。また、仮設工法と施工法の確認を行い、施工時の応力についても照査を行う。</p> <p>④設計計算、設計図、数量の正確性、適切性及び整合性に着目し照査を行う。最小鉄筋量等構造細目についても照査を行い、基準との整合を図る。特に、構造物相互の取り合いについて整合性の照査を行う。</p> </td> </tr> <tr> <td>報 告 書 作 成</td> <td colspan="2">設計業務成果概要書、設計計算書等、設計図面、数量計算書、概算工事費、施工計画書、現地踏査結果等のとりまとめを行い、報告書を作成する。</td> </tr> </tbody> </table>	作 業 区 分	業 務 内 容		構 造 設 計	本体工	躯体、門柱・操作台、胸壁、翼壁、水叩き、護床工及び沈下・変位・部材応力等の計測工について検討し、安定計算・構造計算を行い、構造詳細図、配筋図等を作成する。	ゲート工及び操作室	扉体、巻上機、戸当り、操作室、管理橋の各部について検討し、ゲート・操作室の設計を行う。	高水護岸・低水護岸及び土工等	高水護岸・低水護岸の構造及び使用すべき材料の選定と、必要に応じて安定計算、構造計算を行って、平面図、横断図、縦断図、構造詳細図を作成する。 また、掘削、盛土及び埋戻等の土工図を作成する。	施 工 計 画	堤防開削、本堤築造及びそれに伴う仮締切の構造・撤去等の工事の順序と施工法を検討する。		施 工 計 画 (地盤処理工置換基礎)	地盤処理工（置換基礎）の工事順序と施工方法を検討する。		仮設構造物設計	施工計画により必要となる仮設構造物（仮締切、仮排水路、工事用道路及び山留工等）の規模、構造諸元を近接構造物への影響を考慮して、水理計算、安定計算及び構造計算により決定し、仮設計画を策定する。 なお、鋼矢板式二重締切堤は含まれないものとする。なお、指定仮設を検討する場合は、本歩掛を適用せず別途計上する。		数 量 計 算	数量算出要領に基づき、工種別、区間別に数量のとりまとめを行う。		パ ー ス 作 成	決定したデザインをもとに、周辺を含めた着色パース（A3判）を1タイプについて作成する。		照 査	<p>下記に示す事項を標準として照査を行う。</p> <p>①設計条件の決定に際し、現地の状況の他、基礎情報を収集、把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるかについて照査を行う。</p> <p>②一般図を基に構造物の断面形状、構造形式及び地盤条件と基礎形式の整合が適切にとれているかの確認を行う。</p> <p>③設計方針及び設計手法が適切であるかの確認を行う。また、仮設工法と施工法の確認を行い、施工時の応力についても照査を行う。</p> <p>④設計計算、設計図、数量の正確性、適切性及び整合性に着目し照査を行う。最小鉄筋量等構造細目についても照査を行い、基準との整合を図る。特に、構造物相互の取り合いについて整合性の照査を行う。</p>		報 告 書 作 成	設計業務成果概要書、設計計算書等、設計図面、数量計算書、概算工事費、施工計画書、現地踏査結果等のとりまとめを行い、報告書を作成する。		<p>第 1 4 節 河川構造物設計</p> <p>1 4 - 1 樋門設計 1 4 - 1 - 3 樋門詳細設計 (1) 作業区分 樋門詳細設計歩掛における作業区分は以下のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">作 業 区 分</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">業 務 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">構 造 設 計</td> <td>本体工</td> <td>躯体、門柱・操作台、胸壁、翼壁、水叩き、護床工及び沈下・変位・部材応力等の計測工について検討し、安定計算・構造計算を行い、構造詳細図、配筋図等を作成する。</td> </tr> <tr> <td>ゲート工及び操作室</td> <td>扉体、巻上機、戸当り、操作室、管理橋の各部について検討し、ゲート・操作室の設計を行う。</td> </tr> <tr> <td>高水護岸・低水護岸及び土工等</td> <td>高水護岸・低水護岸の構造及び使用すべき材料の選定と、必要に応じて安定計算、構造計算を行って、平面図、横断図、縦断図、構造詳細図を作成する。 また、掘削、盛土及び埋戻等の土工図を作成する。</td> </tr> <tr> <td>施 工 計 画</td> <td colspan="2">堤防開削、本堤築造及びそれに伴う仮締切の構造・撤去等の工事の順序と施工法を検討する。</td> </tr> <tr> <td>施 工 計 画 (地盤処理工置換基礎)</td> <td colspan="2">地盤処理工（置換基礎）の工事順序と施工方法を検討する。</td> </tr> <tr> <td>仮設構造物設計</td> <td colspan="2">施工計画により必要となる仮設構造物（仮締切、仮排水路、工事用道路及び山留工等）の規模、構造諸元を近接構造物への影響を考慮して、水理計算、安定計算及び構造計算により決定し、仮設計画を策定する。 なお、鋼矢板式二重締切堤は含まれないものとする。</td> </tr> <tr> <td>数 量 計 算</td> <td colspan="2">数量算出要領に基づき、工種別、区間別に数量のとりまとめを行う。</td> </tr> <tr> <td>パ ー ス 作 成</td> <td colspan="2">決定したデザインをもとに、周辺を含めた着色パース（A3判）を1タイプについて作成する。</td> </tr> <tr> <td>照 査</td> <td colspan="2"> <p>下記に示す事項を標準として照査を行う。</p> <p>①設計条件の決定に際し、現地の状況の他、基礎情報を収集、把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるかについて照査を行う。</p> <p>②一般図を基に構造物の断面形状、構造形式及び地盤条件と基礎形式の整合が適切にとれているかの確認を行う。</p> <p>③設計方針及び設計手法が適切であるかの確認を行う。また、仮設工法と施工法の確認を行い、施工時の応力についても照査を行う。</p> <p>④設計計算、設計図、数量の正確性、適切性及び整合性に着目し照査を行う。最小鉄筋量等構造細目についても照査を行い、基準との整合を図る。特に、構造物相互の取り合いについて整合性の照査を行う。</p> </td> </tr> <tr> <td>報 告 書 作 成</td> <td colspan="2">設計業務成果概要書、設計計算書等、設計図面、数量計算書、概算工事費、施工計画書、現地踏査結果等のとりまとめを行い、報告書を作成する。</td> </tr> </tbody> </table>	作 業 区 分	業 務 内 容		構 造 設 計	本体工	躯体、門柱・操作台、胸壁、翼壁、水叩き、護床工及び沈下・変位・部材応力等の計測工について検討し、安定計算・構造計算を行い、構造詳細図、配筋図等を作成する。	ゲート工及び操作室	扉体、巻上機、戸当り、操作室、管理橋の各部について検討し、ゲート・操作室の設計を行う。	高水護岸・低水護岸及び土工等	高水護岸・低水護岸の構造及び使用すべき材料の選定と、必要に応じて安定計算、構造計算を行って、平面図、横断図、縦断図、構造詳細図を作成する。 また、掘削、盛土及び埋戻等の土工図を作成する。	施 工 計 画	堤防開削、本堤築造及びそれに伴う仮締切の構造・撤去等の工事の順序と施工法を検討する。		施 工 計 画 (地盤処理工置換基礎)	地盤処理工（置換基礎）の工事順序と施工方法を検討する。		仮設構造物設計	施工計画により必要となる仮設構造物（仮締切、仮排水路、工事用道路及び山留工等）の規模、構造諸元を近接構造物への影響を考慮して、水理計算、安定計算及び構造計算により決定し、仮設計画を策定する。 なお、鋼矢板式二重締切堤は含まれないものとする。		数 量 計 算	数量算出要領に基づき、工種別、区間別に数量のとりまとめを行う。		パ ー ス 作 成	決定したデザインをもとに、周辺を含めた着色パース（A3判）を1タイプについて作成する。		照 査	<p>下記に示す事項を標準として照査を行う。</p> <p>①設計条件の決定に際し、現地の状況の他、基礎情報を収集、把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるかについて照査を行う。</p> <p>②一般図を基に構造物の断面形状、構造形式及び地盤条件と基礎形式の整合が適切にとれているかの確認を行う。</p> <p>③設計方針及び設計手法が適切であるかの確認を行う。また、仮設工法と施工法の確認を行い、施工時の応力についても照査を行う。</p> <p>④設計計算、設計図、数量の正確性、適切性及び整合性に着目し照査を行う。最小鉄筋量等構造細目についても照査を行い、基準との整合を図る。特に、構造物相互の取り合いについて整合性の照査を行う。</p>		報 告 書 作 成	設計業務成果概要書、設計計算書等、設計図面、数量計算書、概算工事費、施工計画書、現地踏査結果等のとりまとめを行い、報告書を作成する。		
作 業 区 分	業 務 内 容																																																															
構 造 設 計	本体工	躯体、門柱・操作台、胸壁、翼壁、水叩き、護床工及び沈下・変位・部材応力等の計測工について検討し、安定計算・構造計算を行い、構造詳細図、配筋図等を作成する。																																																														
	ゲート工及び操作室	扉体、巻上機、戸当り、操作室、管理橋の各部について検討し、ゲート・操作室の設計を行う。																																																														
	高水護岸・低水護岸及び土工等	高水護岸・低水護岸の構造及び使用すべき材料の選定と、必要に応じて安定計算、構造計算を行って、平面図、横断図、縦断図、構造詳細図を作成する。 また、掘削、盛土及び埋戻等の土工図を作成する。																																																														
施 工 計 画	堤防開削、本堤築造及びそれに伴う仮締切の構造・撤去等の工事の順序と施工法を検討する。																																																															
施 工 計 画 (地盤処理工置換基礎)	地盤処理工（置換基礎）の工事順序と施工方法を検討する。																																																															
仮設構造物設計	施工計画により必要となる仮設構造物（仮締切、仮排水路、工事用道路及び山留工等）の規模、構造諸元を近接構造物への影響を考慮して、水理計算、安定計算及び構造計算により決定し、仮設計画を策定する。 なお、鋼矢板式二重締切堤は含まれないものとする。なお、指定仮設を検討する場合は、本歩掛を適用せず別途計上する。																																																															
数 量 計 算	数量算出要領に基づき、工種別、区間別に数量のとりまとめを行う。																																																															
パ ー ス 作 成	決定したデザインをもとに、周辺を含めた着色パース（A3判）を1タイプについて作成する。																																																															
照 査	<p>下記に示す事項を標準として照査を行う。</p> <p>①設計条件の決定に際し、現地の状況の他、基礎情報を収集、把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるかについて照査を行う。</p> <p>②一般図を基に構造物の断面形状、構造形式及び地盤条件と基礎形式の整合が適切にとれているかの確認を行う。</p> <p>③設計方針及び設計手法が適切であるかの確認を行う。また、仮設工法と施工法の確認を行い、施工時の応力についても照査を行う。</p> <p>④設計計算、設計図、数量の正確性、適切性及び整合性に着目し照査を行う。最小鉄筋量等構造細目についても照査を行い、基準との整合を図る。特に、構造物相互の取り合いについて整合性の照査を行う。</p>																																																															
報 告 書 作 成	設計業務成果概要書、設計計算書等、設計図面、数量計算書、概算工事費、施工計画書、現地踏査結果等のとりまとめを行い、報告書を作成する。																																																															
作 業 区 分	業 務 内 容																																																															
構 造 設 計	本体工	躯体、門柱・操作台、胸壁、翼壁、水叩き、護床工及び沈下・変位・部材応力等の計測工について検討し、安定計算・構造計算を行い、構造詳細図、配筋図等を作成する。																																																														
	ゲート工及び操作室	扉体、巻上機、戸当り、操作室、管理橋の各部について検討し、ゲート・操作室の設計を行う。																																																														
	高水護岸・低水護岸及び土工等	高水護岸・低水護岸の構造及び使用すべき材料の選定と、必要に応じて安定計算、構造計算を行って、平面図、横断図、縦断図、構造詳細図を作成する。 また、掘削、盛土及び埋戻等の土工図を作成する。																																																														
施 工 計 画	堤防開削、本堤築造及びそれに伴う仮締切の構造・撤去等の工事の順序と施工法を検討する。																																																															
施 工 計 画 (地盤処理工置換基礎)	地盤処理工（置換基礎）の工事順序と施工方法を検討する。																																																															
仮設構造物設計	施工計画により必要となる仮設構造物（仮締切、仮排水路、工事用道路及び山留工等）の規模、構造諸元を近接構造物への影響を考慮して、水理計算、安定計算及び構造計算により決定し、仮設計画を策定する。 なお、鋼矢板式二重締切堤は含まれないものとする。																																																															
数 量 計 算	数量算出要領に基づき、工種別、区間別に数量のとりまとめを行う。																																																															
パ ー ス 作 成	決定したデザインをもとに、周辺を含めた着色パース（A3判）を1タイプについて作成する。																																																															
照 査	<p>下記に示す事項を標準として照査を行う。</p> <p>①設計条件の決定に際し、現地の状況の他、基礎情報を収集、把握しているかの確認を行い、その内容が適切であるかについて照査を行う。</p> <p>②一般図を基に構造物の断面形状、構造形式及び地盤条件と基礎形式の整合が適切にとれているかの確認を行う。</p> <p>③設計方針及び設計手法が適切であるかの確認を行う。また、仮設工法と施工法の確認を行い、施工時の応力についても照査を行う。</p> <p>④設計計算、設計図、数量の正確性、適切性及び整合性に着目し照査を行う。最小鉄筋量等構造細目についても照査を行い、基準との整合を図る。特に、構造物相互の取り合いについて整合性の照査を行う。</p>																																																															
報 告 書 作 成	設計業務成果概要書、設計計算書等、設計図面、数量計算書、概算工事費、施工計画書、現地踏査結果等のとりまとめを行い、報告書を作成する。																																																															